

(仮訳)

「日本国総理大臣とポルトガル共和国首相による共同コミュニケ」
(2014年5月2日)の進捗に関するファクト・シート

2015年3月27日、安倍晋三日本国内閣総理大臣とペドロ・パッソス・コエーリョ・ポルトガル共和国首相は東京において会談を行い、「日本国総理大臣とポルトガル共和国首相による共同コミュニケ」(2014年5月2日)に記載された両国の共通行動の進捗状況を確認し、更なる二国間関係の強化に向けた方策として、以下を確認した。また、両首脳は、次の4つの覚書に署名がなされたことを評価した。

- i) ワーキング・ホリデー制度の導入のための協力覚書
- ii) 日本貿易振興機構(JETRO)とポルトガル投資貿易振興庁(AICEP)の協力覚書
- iii) 近畿大学とアルガルヴェ大学及びポルトガル海洋大気研究所との間における覚書
- iv) 北海道大学大学院理学院及び理学部とアルガルヴェ大学との間における学生交流に関する覚書

1. 政治関係及び安全保障

【達成された成果】

●閣僚級の会談・相互訪問

今回のパッソス・コエーリョ首相の訪日により首脳の相互訪問が実現。それ以外にも以下が実施された。

- －アスンサオン・クリスタス農業・海洋大臣の訪日(2014年6月)
- －稲田朋美内閣府特命担当大臣のポルトガル訪問(2014年7月)
- －中山泰秀外務副大臣とマサンエス欧州問題担当外務副大臣の会談(2014年10月, カイロ)。
- －ヌーノ・ヴィエイラ・エ・ブリット農業・海洋省食糧・農業食品研究担当副大臣の訪日(2015年2月)

●議員交流の進展

- －衆議院憲法審査会議員団のポルトガル訪問(2014年7月)
- －赤松広隆衆議院副議長のポルトガル訪問(2014年8月)
- －ジョアン・ガランバ・ポルトガル日本友好議連副会長の訪日(2015年3月)

●政府間対話の進展

- －外務省局長級政務協議(2014年12月, リスボン)
- －ヌーノ・トーレス国防省国防政策局長の訪日(2014年5月)
- －総合海洋政策本部事務局と農業・海洋省との意見交換(2014年10月, リスボン)
- －両国共催による「コロキウム: 日本・ポルトガル・EU協力」の開催(2014年10月, リスボン)

【今後具体化が期待される協力】

- 北大西洋条約機構(NATO)演習「Trident Juncture 2015」(2015年10月～11月, ポルトガル開催)への日本のオブザーバー参加
- 両防衛当局間の経験共有の機会を引き続き探求
- 「コロキウム: 日本・ポルトガル・EU協力」について、今後、双方にとって都合の良い時期にフォローアップを行うよう努力

2. 経済

【達成された成果】

- 貿易・投資の増進に向けた協力の具体化

- －JETRO(2014年10月)及びAICEP(2014年11月)のミッション相互派遣
- －JETRO及びAICEPの協力覚書署名(2015年3月)
- －ポルトガル産豚肉の日本への輸出実現(2014年10月)
- －スマート・コミュニティにかかる協力として、両国関係者の参加による自動ディマンドレスポンス実証事業実施の決定(2015年3月)

【今後具体化が期待される協力】

- 食品、農産物、畜産品分野での協力

- －ポルトガル産家きん肉、さくらんぼの対日輸出解禁
- －EUによる福島県産食品等の輸入規制の見直しに係る協力
- －食品安全の分野におけるリスク評価機関間の協力

- JETROとAICEPの協力による双方向の投資交流の強化、貿易関係強化、第三国での両国企業連携の強化

- ポルトガルで開催される国際会議「ブルー・ウィーク」(2015年6月)への日本側ハイレベルの参加

- スマート・コミュニティにかかる今後の協力

- －テクニカルミーティングの開催(2015年4月初旬)、フィージビリティ及び実証事業の実施

- ポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)企業連盟と日本企業とのコンタクト促進

3. 文化・学術協力及び人的交流

【達成された成果】

- 相手国における日本語・ポルトガル語教育拡充に向けた取組

- －CPLPにアクション・プラン改訂版の提出(2015年2月)
- －第二回日本語弁論大会開催(2014年11月, ポルト), 第五回日本語能力試験の実施(2014年12月, ポルト)

- 「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム(WAW! Tokyo 2014)」へのポルトガルのシャンパリモー財団からの出席(2014年9月)

- 日本国政府とポルトガル共和国政府との間のワーキング・ホリデー制度導入のための協力覚書署名(2015年3月)

- 近畿大学とアルガルヴェ大学及びポルトガル海洋大気研究所との間における覚書署名(2015年3月)

- 北海道大学大学院理学院及び理学部とアルガルヴェ大学との間における学生交流に関する覚書署名(2015年3月)

- 「日本祭り」(2014年6月, リスボン) 及び「日本の書展」(2014年10月～12月, リスボン)

【今後具体化が期待される協力】

- 外交史料展の開催に向けた更なる準備

- 「第23回世界スカウトジャンボリー」(2015年7月～8月, 山口県)へのポルトガル青年団(200名以上)の参加

- 「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム(WAW! Tokyo 2015)」へのポルトガル

側ハイレベルの参加(2015年8月)

- リスボン市とひょうご震災21世紀機構による「日本・ポルトガル防災シンポジウム」
(2015年11月, リスボン)の共催
- リスボン国際観光フェアBTL(2016年2月)への日本の出展
- 「欧州日本研究学会」国際会議(2017年, リスボン)に向けた学術協力の促進
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ交流
- ポルト, リスボン, エヴォラにおける南蛮屏風下張文書修復事業への協力

4. 国際場裡での協力

【達成された成果】

- CPLPにおける協力
 - －CPLP首脳会議での日本のオブザーバー参加の正式承認(2014年7月, 東ティモールのディリ)
 - －サントメ・プリンシペ国民議会選挙への両国からの選挙監視要員の派遣(2014年10月)
- 第3回国連防災世界会議
 - －アナベラ・ロドリゲス内務大臣の出席(2015年3月, 仙台)
- 海洋分野
 - －総合海洋政策本部事務局と欧州海上保安機関(EMSA)との意見交換(2014年10月)

【今後具体化が期待される協力】

- テロとの闘いにおける協力
- 日EU経済連携協定(EPA)の2015年中の大筋合意, 日EU戦略的パートナーシップ協定(SPA)の交渉促進に向けた協力
- ポルトガル語圏諸国及びその他の地域における在外公館間対話を促進
- CPLP閣僚会合への日本の参加(2015年7月, 東ティモールのディリ)
- ポルトガルのアフリカ開発会議(TICAD)プロセスへの継続的な支持
- 国際連合の強化, 特に安全保障理事会の改革の実現
 - －2015年9月の国連総会を念頭に置いた協力の具体化
 - －ポルトガルのG4への継続した支持

以上